

幻の書『資治通鑑』 8

何が書いてあるのか？ 11

中国では資治通鑑はどういう風に読まれたか？ 14

日本では資治通鑑はどういう風に読まれたか？ 17

なぜ資治通鑑を読む必要があるのか？ 18

資治通鑑から何を学び得るのか？ 22

なぜ今まで読まれなかったのか？ 26

なぜ私が資治通鑑を読んだのか？ 27

資治通鑑を読むと人生観が変わる 32

第1章 残酷を極める中国人 35

中国人の食人の風習 38

隋末の朱粲——人肉より旨いものはない 42

太らせてから殺して食べる 45

平和な時代は退屈、戦乱の時代が面白い 46

五胡十六国・前秦の苻生 48

南北朝・南斉の東昏侯 55

南北朝・北斉の顓祖 57

南北朝・梁の侯景の乱 65

五代十国時代の残虐 74

財宝のために命が狙われる 79

五代十国・閩の薛文傑 82

連鎖反応的に財のために命を落とす 86

ローマ帝政時代、財で命を落とした富人 91

サディストの帝王、南漢の劉龔 92

中国人のド派手な贅沢・桁はずれの蓄財

過去から綿々と続く豪奢の伝統 122

平和になって30年たつと贅沢モードに 124

弥生時代の中国の贅沢 128

大げさに見せびらかすが中国流 135

ド派手な食卓 137

北魏のグルメたち 140

ド派手な建築 142

国家予算規模のド派手な私邸 150

1500年間の中国史を描いた『資治通鑑』は全294巻にも及ぶ空前絶後の大作である。長い歴史の中、幾度も繰り返される権力闘争と粛清、そして桁外れの蓄財など社会の負の側面は、現代中国にそのまま通ずる。歴史から現代を学ぶ画期的な一冊。

本当に残酷な中国史

大著「資治通鑑」を読み解く

麻生川静男

ナイーブな日本人 168

①互いの妬みや怨みを利用する 170

②高位者を利用して報復する 177

③味方をも欺く 180

④おだてて自滅を待つ 184

⑤表では友好を装い、裏では陥れる策を練る 191

⑥奸計で無実の人を陥れる 198

⑦面子を守るためには、不正・不義も断行する 223 214

⑧権道——義を貫くためには汚い手段も辞さず 239

中国人の善悪のレンジの広さ 239

資治通鑑とは、

坂本龍馬、西郷隆盛、水戸光圀、北高親房、そして毛沢東が愛読した

“幻の歴史書”

- 資治通鑑を読むと人生観が変わる
- 中国人の食人の風習「人肉より旨いものはない」
- 財宝のために命が狙われる
- 陰険な中国人の策略
- 皇后・皇女の淫行
- 中国人のド派手な贅沢・桁はずれの蓄財
- 面子を守るためには、不正・不義も断行する ほか

大著「資治通鑑」を読み解く

麻生川静男

角川新書

D-72

中国は三千年前から困った人ばかりの国

あの国の本質がわかる

スーパー悪人&善人列伝

角川新書

定価：本体820円(税別)